



外国語教育の充実 小学校、中学校の外国語科の先生方へ ～今年度後半を迎えるにあたって～

普段の授業を振り返ってみましょう

- コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、実際に外国語(英語)を使って、自分の考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行っていますか。
- 児童生徒の学びや学び合いの途中で、言語面、内容面の視点から、全体で具体的な児童の姿を共有するなどして、中間指導を行っていますか。

今年度の「授業力アッププロジェクトチーム協議会」では、先生方の授業力向上のため、指導教諭の先生方とたくさんの先生方、指導主事等が一体となって授業づくりについて研究を進めているところです。外国語部会においては、下の3本柱を中心に授業づくりを行っています。

今年度の折り返しにさしかかったこのタイミングで、改めて御自身の授業を振り返り、授業改善に生かしていきましょう。

① 言語活動の設定・充実

② 中間指導の充実

③ 指導と評価の一体化

本年度から全ての小中学校等を対象に、小学校5年生から中学校3年生に対して英語の学習者用デジタル教科書が提供されています。文部科学省「外国語におけるICTの活用について」(令和2年9月11日)には、外国語におけるICT活用の利点として、以下の3点が挙げられています。(一部抜粋)

①【言語活動・練習】

- ・言語活動(特に「話す」、「聞く」機会)の充実とパフォーマンステスト等評価への活用
- ・音声、文字、語彙、文構造、文法などの定着(繰り返し練習)
- ・一人一人の能力や特性に応じた学びの機会の確保

②【交流・遠隔授業】

- ・遠隔地、海外とのコミュニケーションと災害など非常時への対応

③【コンテンツ・授業運営】

- ・コミュニケーションのモデル提示、「聞く」「読む」ための素材の提供
- ・板書や説明時間の短縮等により、言語活動中心の授業展開が可能
- ・写真やイラスト等により、日本語を介さずに英語のまま理解することを支援

まずは、学習者用デジタル教科書を活用して、モデル音声を聞く、自分の音声を録音(録画)することから始めてみましょう。



「ひなた場」をやってみませんか？

今年度からキャリア教育プログラムの一つである「ひなた場」を、各学校で実施できるように宮崎県教育研修センターのホームページに掲載しています。

「ひなた場」は、自分自身と向き合いながらこれからどうなりたいのかを考え、人生の先輩(発達段階に応じて大人、高校生、中学生)から生き様を学び、対話により自分自身の人生設計を考えるプログラムになっています。

ホームページのトップから授業支援「ひなた場の説明」にて、説明動画や手引き、資料等がダウンロードできるようになっています。是非、各学校でキャリア教育の一環として御検討ください。※パスワードが設定されていますので、市町村立学校の方は、市町村教育委員会キャリア教育担当者または市町村キャリア教育支援センター等にパスワードをお聞きください。

宮崎県キャリア教育支援センターホームページには、働く人のインタビュー動画が掲載されています。併せて御活用ください。



児童生徒理解について、振り返ってみましょう！

生徒指導提要には、「児童生徒理解」について、大切なポイントが記載されています。この時期にもう一度、振り返ってみましょう。

複雑な心理・人間関係の理解

生徒指導の基本と言えるのは、教職員の児童生徒理解です。しかし、経験のある教職員であっても、児童生徒一人一人の家庭環境、生育歴、能力・適性、興味・関心等を把握することは非常に難しいことです…

観察力と専門的・客観的・共感的理解

…児童生徒を心理面のみならず、学習面、社会面、健康面、進路面、家庭面から総合的に理解していくことが重要です。また、学級・ホームルーム担任の日頃のきめ細かい観察力が、指導・援助の成否を大きく左右します…

児童生徒、保護者と教職員の相互理解の重要性

…児童生徒、保護者と教職員がお互いに理解を深めることが大切です。児童生徒や保護者が、教職員に対して、信頼感を抱かず、心を閉ざした状態では、広く深い児童生徒理解はできません…

※「生徒指導提要P23、24(令和4年12月 文部科学省)」より抜粋

問合せ先：中部教育事務所
(担当：安部)

TEL (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、「ひなたの学び」を推進しています。